GRANCERA SERIES

F★★★★
ホルムアルデヒド放散等級

GRANCERA TOP

ターペン可溶 2 液セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料

グランセラ™トップ 2 液ファイン

美しい
つや感

高い
耐久性

安心の
超低汚染性

防藻・
防かび性

NIPPON PAINT
Basic & New

GRANCERA TOP

住まいの「美観」をまもり、「寿命」を延ばすハイグレード塗料

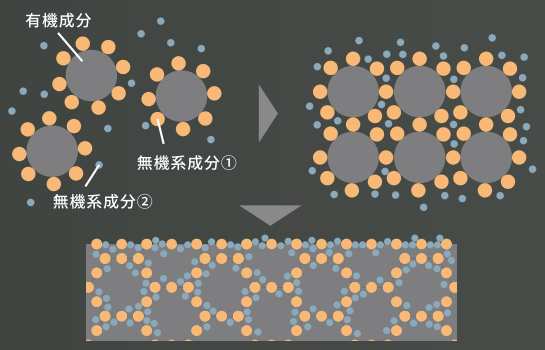
グランセラトップ 2液ファイン

ラジカル制御技術とセラミックハイブリッド技術を融合。フッ素樹脂塗料を超える高耐候性、超低汚染性を誇るハイグレードの外壁用塗料です。

セラミックハイブリッド無機系塗料とは？

無機塗料は紫外線に強く、高い光沢と燃えにくさが特長ですがその反面、塗膜が割れやすいという性質がありました。そこで無機の硬い部分（無機系成分①）と有機の柔軟部分をハイブリッド化することで「弾性」の性能が発揮されます。

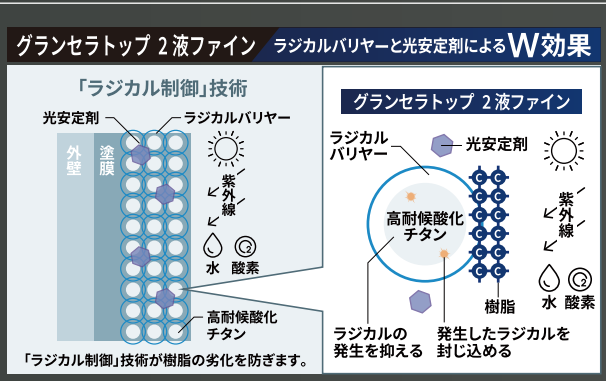
さらに表層に配向した無機系成分②により、超低汚染性を発揮します。



塗膜形成イメージ図

独自技術で紫外線から住まいをまもる、非常に優れた耐候性塗料

一般的な塗膜は、酸素や水とともに紫外線があたると顔料の主成分である酸化チタン内からラジカルが発生し、塗膜劣化を誘発します。そこで日本ペイントは、ラジカル発生を抑え、かつ発生したラジカルをバリヤー内に封じ込める高耐候酸化チタンの活用技術を開発。さらに光安定剤の併用により、ダブル効果で優れた耐候性を発揮します。



● 上塗り塗料の耐候性のグレードレベル

塗料の耐候性には様々なグレードがありますが、ラジカル制御形塗料は住まいを長持ちさせる品質・性能をコストパフォーマンス良く享受できるのが魅力です。グランセラトップ 2液ファインはフッ素を超える高耐候性。長期的に見て塗装回数が減り、お住まいのメンテナンス費用削減につながります。

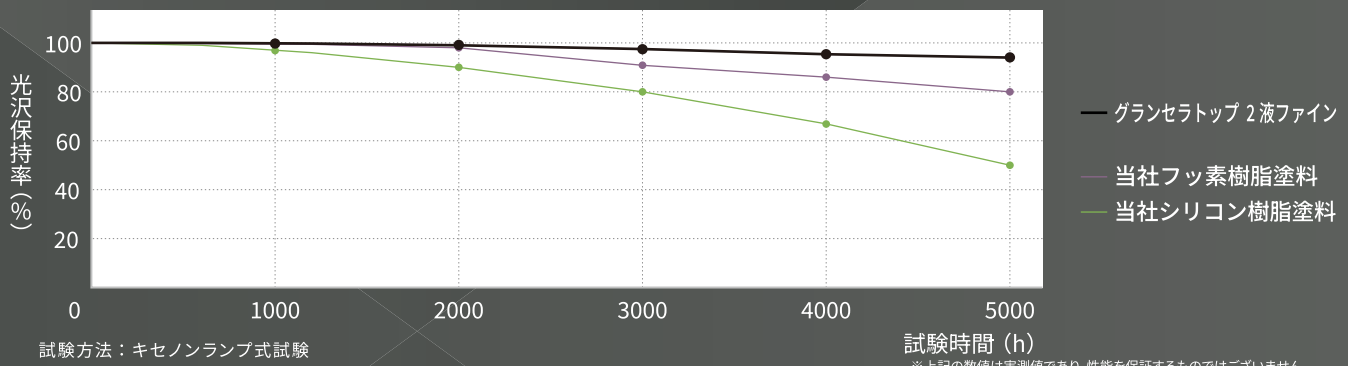
GRANCERA SERIES

“6つの特長”で、外壁を美しくまもります

1. 優れた耐候性

グランセラトップ２液ファインは、促進耐候性試験において優れた耐候性を示しました。

促進耐候性試験



試験方法：キセノンランプ式試験

※上記の数値は実測値であり、性能を保証するものではございません。

2. 美しいつや

グランセラトップ 2液ファインは、高いレベリング性により、つやが優れています。またつや有り・７分・５分・３分つや有りと幅広く対応が可能です。

グランセラトップ２液ファイン（つや有り）

※ 上記は平滑仕上げの塗膜画像です。
仕様はパーフェクトプライマー＋グランセラトップ２液ファイン

当社一般低汚染弱溶剤塗料（つや有り）

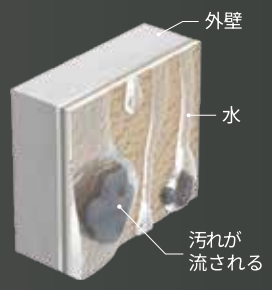
※ 上記は平滑仕上げの塗膜画像です。

3. 超低汚染性

グランセラトップ ２液ファインは、「超低汚染性」（親水性機能）によって、建物外観に付着した汚れを雨とともに洗い流し、美観を維持することが可能です。

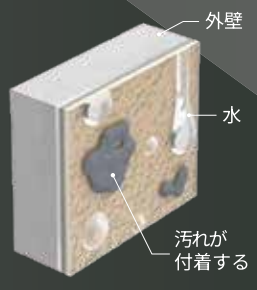
塗膜と汚染物質のモデル図

グランセラトップ２液ファイン
親水性膜
水に濡れやすい塗膜



親水性が高いと汚れが落ちやすい

一般的な塗料
親油性膜
水をはじきやすい



親水性が低いと汚れが落ちにくい

4. 防藻・防かび機能

藻・かびの発生を抑制し、建物の美観と清潔な環境をまもります。

5. 幅広い下地適性

下塗りを変えることで幅広い素材への塗装が可能です。

6. 弾性仕様

弾性タイプの主材（下塗り）と組み合わせることで、外壁のひび割れに追従でき、各種弾性形塗料の塗り替えに適応できます。

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	ポットライフ
ニッペ グランセラトップ 2液ファイン	各色	つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り	16kgセット（塗料液14kg・硬化剤2kg） 3.2kgセット（塗料液2.8kg・硬化剤0.4kg）	6時間以内（23℃）

乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	3時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

ターペン可溶2液セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料

グランセラトップ 2液ファイン

適用下塗り塗料・適用下地

	適用下塗り塗料		適用下地
内外壁 付帯部	パーフェクトフィラー パーフェクトサーフ タイルラック1液 EPO-Sベース	DANフィラーエポ DANタイル中塗Rホワイト/Sホワイト ファイン浸透シーラー	●モルタル面 ●コンクリート面 ●窯業系サイディングボード ●ALCパネル面 ●各種旧塗膜の上
	水性パーフェクトシーラー ファインパーフェクトシーラー 1液ファインパーフェクトシーラー		●無機やフッ素下地の高意匠サイディングボード （従来のモルタル、コンクリート面などにも塗装できます）
	パーフェクトプライマー ハイポンファインプライマーII 1液ハイポンファインデクロ		●付帯金属面 ●FRP ●木部 ※1 ●金属パネル外壁 ●亜鉛メッキ ●アルミ ●各種旧塗膜の上

※1　下地が木部の場合はパーフェクトプライマーをご使用ください。

標準塗装仕様(塗り替え)

●モルタル面、コンクリート面の塗り替えなど

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	パーフェクトフィラー	1	0.20～0.45	4時間以上	水道水	3～8	ウールローラー
			0.50～0.90			1～5	砂骨ローラー
						2～5	タイルガン
上塗り	グランセラトップ 2液ファイン	2	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0～10	はけ、ウールローラー
						5～10	エアレススプレー

●窯業系サイディングボード、ALCパネル面の塗り替えなど

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	パーフェクトサーフ	1	0.20～0.40	3時間以上	水道水	2～5	はけ・ウールローラー
上塗り	グランセラトップ 2液ファイン	2	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0～10	はけ、ウールローラー
						5～10	エアレススプレー

※フッ素および無機コーティングした窯業サイディングボードの場合は、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

●一般鉄部、金属サイディングボード面

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	パーフェクトプライマー	1	0.14～0.16	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0～5	はけ、ウールローラー
			0.16～0.18				エアレススプレー
上塗り	グランセラトップ 2液ファイン	2	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0～10	はけ、ウールローラー
						5～10	エアレススプレー

※下塗り（さび止め）にはエスパーワンエース、ハイポン20デクロ、1液ハイポンファインデクロ、ハイポンファインプライマーIIも使用できます。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
　塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
※カタログに記載している内容は一般的な環境下での施工を想定し記載しております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

施工上の要点と注意事項

※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1.「3～7分つや有り仕上げ」の場合、上塗りの1回目に「つや有り」、2回目に「3～7分つや有り」をご使用ください。2.本塗料は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が混入しないようにしてください。また空気中に含まれた水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、0℃～40℃未満に保てる冷暗所に保管してください。3.蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。4.塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。5.FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整（目粗し）を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。6.風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸い込み個所がある場合はその部分を増し塗りしてください。7.塗料液と硬化剤の混合は、電動攪拌機などで均一になるまで行ってください。8.つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。9.つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。10.過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。11.つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。12.つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。13.防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。14.被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。15.塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。16.溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。17.所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。18.硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。19.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。20.硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。21.塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。22.塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。23.旧塗膜が塗料用シンナーで容易に溶解するつや有り塗料の場合は、縮みや膨れが発生するおそれがあるため、塗装は避けてください。弱溶剤1液形塗料や水性塗料での塗り替えをお奨めします。24.旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。25.既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。26.改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。27.シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。28.　シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマ-を下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。29.旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。30.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH－2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。31.表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。32.ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）33.内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。34.材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用下さい。35.新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。36.塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。37.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。38.塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。39.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。40.飛散防止のため必ず養生を行ってください。41.笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。42.薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。43.上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認下さい。44.濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。45.濃彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認の上、ご使用ください。46.大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。47.塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。48.汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。49.クロスの上の塗装は避けてください。50.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。51.平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。52.塗装後短時間の内にマスキングテープなどを貼り付けると、テープ跡が残ることがあります。残り方はテープの種類によって異なりますので、事前に確認してください。53.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。54.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。55.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。56.内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。57.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート（SDS）をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101
東北支店 ☎022-232-6711
関東支店 ☎03-5479-3614
北関東信越支店 ☎03-5479-3614
中部支店 ☎052-461-1960
近畿支店 ☎06-6455-9608
中国支店 ☎082-281-2180
四国支店 ☎0877-56-2346
九州支店 ☎092-751-9861

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または
日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●Copyright © 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ https://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.
NP-C064
AZ240620T
2024年6月現在